

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（柏崎刈羽原子力発電所7号炉 設計及び工事の計画）【248】
2. 日時：令和2年7月2日 10時00分～15時45分
3. 場所：原子力規制庁 9階D会議室
4. 出席者（※・・TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

新基準適合性審査チーム

植木主任安全審査官、津金主任安全審査官、宇田川安全審査官、
服部安全審査専門職、堀野技術参与、山浦技術参与

事業者：

東京電力ホールディングス株式会社

原子力設備管理部 機器耐震技術GM 他25名※

5. 要旨

(1) 東京電力ホールディングス株式会社から、柏崎刈羽原子力発電所7号機の工事計画認可申請書のうち、耐震性及び強度に関する説明書について、令和2年3月26日、6月17日、6月18日、6月19日、6月24日及び6月25日の提出資料に基づき説明があった。

(2) 原子力規制庁から、主に以下の点について説明等を求めた。

【水平2方向及び鉛直方向の適切な組合せに関する検討について（機器・配管系）（津波防護施設，浸水防止設備及び津波監視設備）】

- 「表12-1 水平2方向及び鉛直方向地震力を考慮した一次+二次+ピーク応力強さの評価結果」に示される設備の選定方法を整理して説明すること。また、水平1方向と2方向入力時の累積疲労係数が同じ設備について、その理由を整理して説明すること。

【溢水防護に係る施設の水平2方向及び鉛直方向地震力の組合せに関する影響評価結果】

- 「2.2 評価条件及び評価方法」のうち「(1) 評価対象となる設備の整理」について、当該設備のほかに水平1方向及び鉛直方向地震力による裕度が1.1未満の設備が評価対象として含まれていることを説明すること。火災防護設備、可搬型重大事故等対処設備及び地下水排水設備についても同様に説明すること。

【遠隔手動弁操作設備の耐震性についての計算書】

- 「図4-1 解析モデル（単位：mm）」に示されるはり要素について、断面性状を整理して説明すること。

【管の耐震性についての計算書（主蒸気系）】

- 主蒸気逃がし安全弁排気管のドライウェル内の部分について、基準地震動 S_s に対して健全であることを整理して説明すること。

(3) 東京電力ホールディングス株式会社から、本日の説明等を求められた内容について了解した旨の回答があった。

6. その他
なし